

金賞 天野 智佳君

北海道名寄産業高等学校建築システム科 むすびらき

北海道の多くの地方としてでは郊外での商業施設の繁盛により駅前商店街が衰退している、この作品は名寄市の駅前商店街の活性化に正面から取り組んでいる。現存する店舗にひと工夫加える活用案、デザインコードの提案など古いものと新しいものを融合させようとする具体的な提案がこの作品の魅力である。また、「いとなよせ」と名付けられたスカイウォークで店舗を結ぶことにより、人々の心をつなぐ場を設けている。ここでは柔らかい光を生み出すために和紙を用い交流の場として優しい空間をつくっている。郷土愛に満ちたまちづくりの視点からディテールへの気配りまで豊かな振幅を持った作品であり、金賞として評価した。この場所の特性そして建物をつくる上でのコンセプトワークが破たんすることなく最後までまとめられている。この作品が持つ幾何学的造形と周辺環境をうまく調停しながらつくられていることが評価された。

(文責：菅原 秀見)

